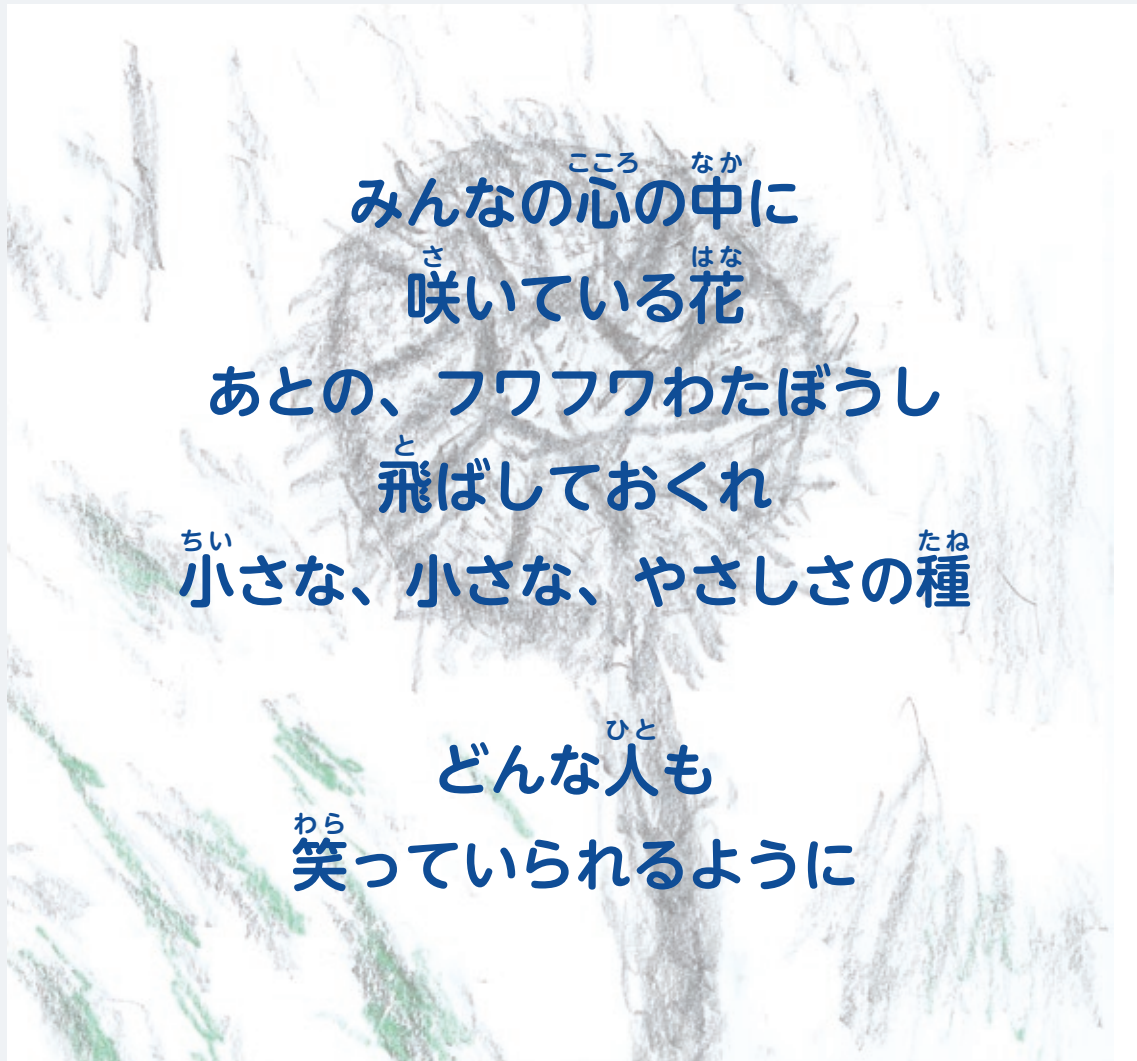




# わたぼうし

多治見市福祉教育読本 小学生用



みんなの心<sup>こころ</sup>の中<sup>なか</sup>に

咲<sup>さ</sup>いている花<sup>はな</sup>

あとの、フワフワわたぼうし

と飛<sup>と</sup>ばしておくれ

ちい<sup>ちい</sup>小さな、小さな、やさしさの種<sup>たね</sup>

どんな人<sup>ひと</sup>も

わら<sup>わら</sup>笑<sup>わら</sup>ってられるように

いとう かずひろ  
伊藤 一浩

## みつけよう

|                  |   |
|------------------|---|
| いろいろな人が暮らしています…… | 2 |
| 家の中で工夫されているもの……  | 4 |
| まちの中で工夫されているもの…… | 6 |

## やってみよう

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 目が不自由になった体験をしてみよう……   | 8  |
| 目が不自由な人のためにあるものを知ろう…… | 10 |
| 耳が不自由になった体験をしてみよう……   | 12 |
| 手足が不自由になった体験をしてみよう……  | 14 |
| 高齢者になった体験をしてみよう……     | 16 |

## かんがえよう

|                  |    |
|------------------|----|
| 障がいのある人の生活を知ろう…… | 18 |
| できることから、はじめよう……  | 21 |
| こんなことをしています……    | 22 |

## しらべてみよう

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 多治見市には、たくさんの施設があります…… | 24 |
| 総合福祉センターは、こんなところです……  | 26 |
| いろいろなマークがあります……       | 28 |

## さんこう参考ページ

|                      |    |
|----------------------|----|
| 自分が学習するときの参考にしてみよう…… | 30 |
|----------------------|----|



わたしたちのまわりでは、いろいろな人が暮らしています。  
どのような人たちとかかわりあって<sup>せいかつ</sup>生活しているか、みんな<sup>かんが</sup>で考えて  
みましょう。







かぞく 家族には、どんな人がいますか？  
がっこう 学校には、どんな人がいますか？  
まちのなか まちの中には、どんな人がいますか？  
あなたのまわりには、どんな人が暮ら  
していますか？





# みつけよう！

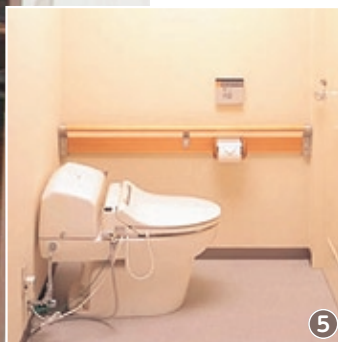
## いえ なか くふう ～家の中で工夫されているもの～

家の中には、いろいろな人が生活しやすいように、工夫されたものがたくさんあります。転ばないように工夫、さわってわかるしるし、音や光で知らせる便利な電化製品など、たくさんの工夫があります。

どこに、どんな工夫があるのか、みつけてみましょう。



どっちの玄関が使い  
やすいかな？



3



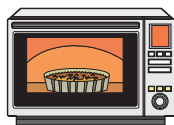
シャンプーとリンスの容器は、<sup>ようき</sup>同じ形をして  
います。

<sup>め</sup>目をつぶったまま、<sup>て</sup>手でさわって、どちらが  
シャンプーかあててみましょう。

ほかにも、さわってわかるものや、<sup>おと</sup>音や<sup>ひかり</sup>光で  
知らせてくれるものをさがしてみましょう。



どっちが、  
シャンプーかな？



どっちの缶が、  
<sup>ちや</sup>お茶かな？





家の中には、生活しやすいように工夫されたものが、たくさんありましたね。外へ出ると、道路や公園、バスや電車などの乗り物、児童館や図書館などの公共施設、買い物や食事をするお店などがあります。

まちの中では、どんな工夫がしてあるのか、みつけてみましょう。



どっちの道路が通りやすいかな？



歩道と車道の間に段差があります。



歩道と車道の間に段差がありません。







たてものなか  
建物の中だけではなく、建物へ行くまでの  
どうろちゅうしゃじょうくふう  
道路や駐車場などに工夫してあるものを、  
みつめてみましょう。



くるまつか  
あなたが車いすを使っていたら…  
うれしいのはどんなこと？





### 目が不自由とは、どういうことだろう？

わたしたちは、見ることによって、身のまわりのことがわかります。  
目が不自由でよく見えないと、どこに何があるのか、誰が何をしているのか、わかりません。そのため、手でさわったり音を聞いたり、目のかわりとなるものを使いながら、生活しています。

### ◆ひとりある 一人で歩いてみよう

目かくしをした人と、見守る人が二人一組になって、歩いてみましょう。

#### たとえば

教室の中を歩いてみる。  
トイレまで歩いてみる。

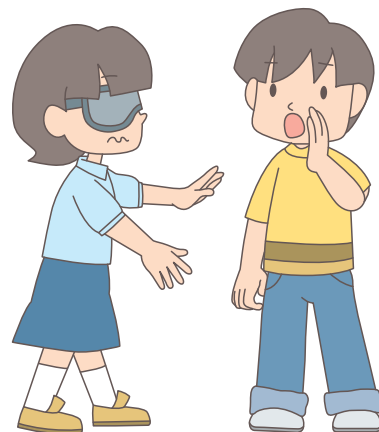
#### 目かくしをした人

壁や物にぶつかってけがをしないように、ゆっくり歩きましょう。

#### みまも 見守る人

目かくしをした人を、近くで見守りましょう。

目かくしをした人が危険なときや、違った方向へ行きそうなときは、声をかけたり手助けしたりしてあげましょう。



目かくしをして一人で歩けましたか？

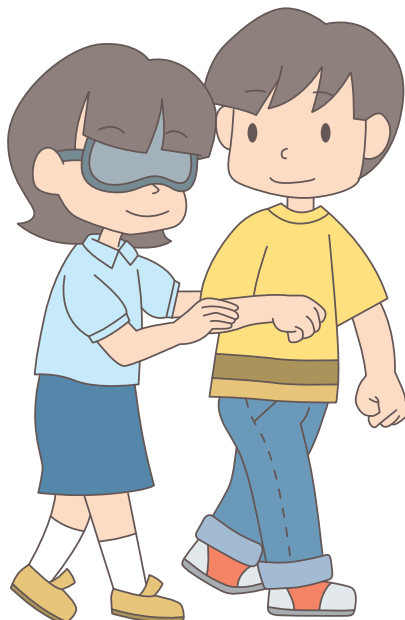
なれた場所でも、どこに何があるか、誰が何をしているのか、よくわかりませんね。

## ◆ふたりひとくみある 二人一組で歩いてみよう

つぎめは、目かくしをした人と、案内をする人が二人一組になって、歩いてみましょう。

かいだん  
階段は  
まだなの？

あと、5歩ぐらい  
歩くと階段だよ



### 目かくしをした人

どのように案内してほしいのか、案内する人に伝えましょう。

### たとえば

手を引いてもらう。

肩や腕をかしてもらう。

### 案内をする人

目かくしをした人が安心して歩けるように、まわりのようすを話しながら、手を引いたり自分の肩や腕をかしたりしましょう。



歩き始める時は「〇〇へ行きますね」、止まる時は「〇〇があるので止まりましょう」など必ず声をかけましょう。

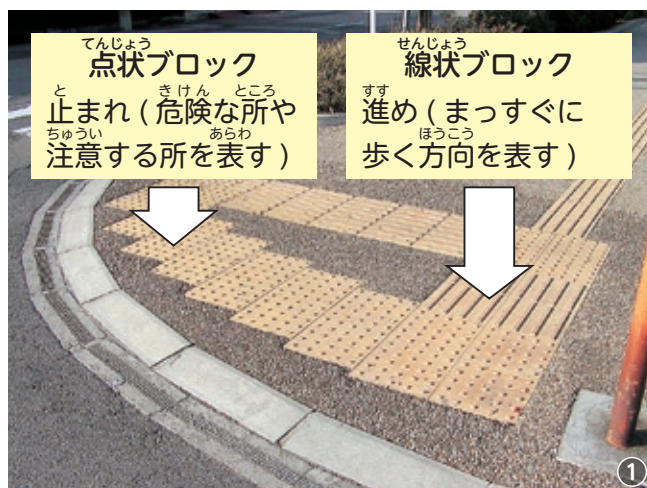
階段や段差などの危ない所でも、一度立ち止まってから、「のぼり階段があります」「階段をのぼります」「階段は終わりです」というように、くわしく伝えましょう。



## ◆点字ブロック

歩道に黄色のブロックがあるのを知っていますか？

これは「点字ブロック」といって、目の不自由な人がたどって歩くための道しるべです。線になったブロックと、点になったブロックがあり、足の裏で、でこぼこを確かめながら歩いたり、交差点や階段などの場所を知ったりするために役立ちます。



点字ブロックの上で立ち止まったり、自転車などを置いたりして、大切な道しるべをうばわないように、気をつけましょう。

## ◆白杖

白杖は、目の不自由な人が、歩くときに使います。白杖の先で、階段の始まりや終わり、段差や電車とホームのすきまなど、あたりのようすを確かめながら歩きます。白杖は、目のかわりとなる大切なものでもあり、まわりの人に目の不自由なことを知らせる「しるし」でもあります。



白杖 SOS シグナル  
普及啓発シンボルマーク



このマークは目の不自由な人が困っていることを表しています。

困っている人や白杖を頭から 50cm くらい上にあげている人を見かけたら、「お手伝いしましょうか」と声をかけましょう。

## ◆もうどうけん 盲導犬

盲導犬は、目の不自由な人が安全に歩けるように、目のかわりとなって働いています。スーパーなどのお店に入ることもできるし、バスや電車に乗ることもできます。

盲導犬は、こうした大事な仕事をするために1年かけて訓練をしています。訓練は一つずつ課題をクリアしていくもので、犬たちにとってゲーム感覚で進めることができるように工夫しています。

また、盲導犬の他にも、体の不自由な人が歩くのを支えたり、立ち上がるのを助けたり、その他身の回りの手伝いをしたりする介助犬や、耳の不自由な人に、音が鳴っていることを知らせる聴導犬がいます。



①



仕事をしている盲導犬に「かわいい」と声をかけたり、頭をなでたりしてはいけません。大事な仕事に集中できなくなり、目の不自由な人を危険な目にあわせてしまいます。

盲導犬を見かけたら、優しく見守り、応援は心の中でしましょう。

また、無断で写真や動画を撮らないようにしましょう。

## ◆てんじ 点字

点字は、指でさわって読む文字です。

一つの文字は、縦3点、横2点の6つの点の組み合わせでできています。

| あ  | い  | う  | え  | お  |
|----|----|----|----|----|
| ●— | ●— | ●● | ●● | —● |
| —  | ●— | —  | ●— | ●— |
| —  | —  | —  | —  | —  |
| か  | き  | く  | け  | こ  |
| ●— | ●— | ●● | ●● | —● |
| —  | ●— | —  | ●— | ●— |
| —● | —● | —● | —● | —● |



## 耳が不自由とは、どういうことだろう？

わたしたちは、聞くことによって、身のまわりのことがわかります。  
耳が不自由でよく聞こえないと、話し声や物音が聞きとれず、話しかけられても会話ができません。また、サイレンや警報機が鳴っても、わかりません。いつも、身のまわりのことに、目で注意をしています。

## ◆ 声を出さずに伝えてみよう

身ぶりや手ぶりだけで、自分の言いたいことを相手に伝えてみましょう。

### たとえば

朝ごはんは何を食べたか伝える。

きのう見たテレビの内容を伝える。

何をするのが好きなのか伝える。



うまく伝わったかな？ 他にも、「手話」や、紙や手に字を書く「筆談」、相手の口の動きを読む「口話」などがあります。  
いろいろな方法で、伝えてみましょう。

## ◆手話を知ろう

手話は、手の動きや表情で、自分の考えや気持ちを相手に伝えることができる「ことば」です。手話には、物や生き物の形をまねたものや、物の動きや人の動作をまねたものもあります。

### おはよう

まくら あたま  
枕から頭をあげて起きるようす



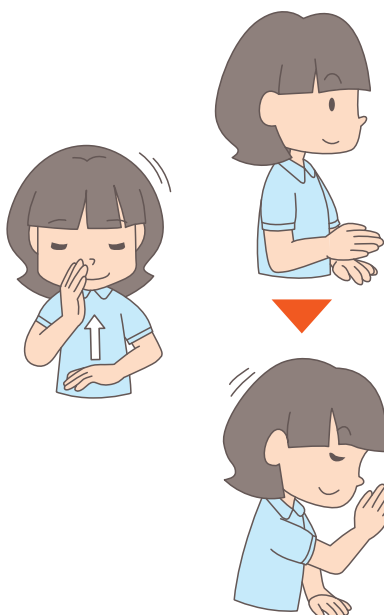
### こんにちは

とけい はり  
時計の針が12時になったようす



### ありがとう

しょうきん う と  
すもうで、賞金を受け取るようす



### おこまりですか？

みぎて ゆびさき  
右手4本の指先で頭をかくしぐさ



むね まえ さゆう ふ  
右手人差し指をたて、胸の前で左右に振る



手の動きだけでなく、顔の表情や口の動き、からだ全体の動きを  
つか あらわ  
使って気持ちを表しましょう。



どうが み  
手話動画を見てみよう！



## 手足が不自由とは、どういうことだろう？

ふだん何<sup>なに</sup>気<sup>げ</sup>なく使<sup>つか</sup>っている手や足が、けが<sup>けが</sup>や病<sup>びょう</sup>気<sup>き</sup>などで使えなくなったら、どうしますか？

いつもは、簡<sup>かん</sup>単<sup>たん</sup>にできることが、なかなかできなかつたり、手<sup>て</sup>助<sup>すけ</sup>が必要<sup>ひつよう</sup>となつたりして、生<sup>せい</sup>活<sup>かつ</sup>が不<sup>ふ</sup>便<sup>べん</sup>になることが、たくさんあります。

### ◆<sup>かたて</sup>片手でやってみよう

利<sup>き</sup>き手を後<sup>うし</sup>ろに回<sup>まわ</sup>して、片手だけで、いろいろなことをしてみましょう。

#### たとえば

字<sup>じ</sup>を書<sup>か</sup>いたり、消<sup>け</sup>しゴムで消したりする。

のりのキャップをとる。

はさみ<sup>かみ</sup>で紙<sup>き</sup>を切る。



うまくできたかな？

友<sup>とも</sup>だちと助<sup>たす</sup>け合<sup>あ</sup>いながらやってみましょう。

### ◆<sup>かたあし</sup>片足でやってみよう

片足<sup>ま</sup>が曲<sup>ま</sup>がらないように、ひざにダンボールをあてて、いろいろなことをしてみましょう。

#### たとえば

あ<sup>ある</sup>る歩<sup>あ</sup>いてみる。

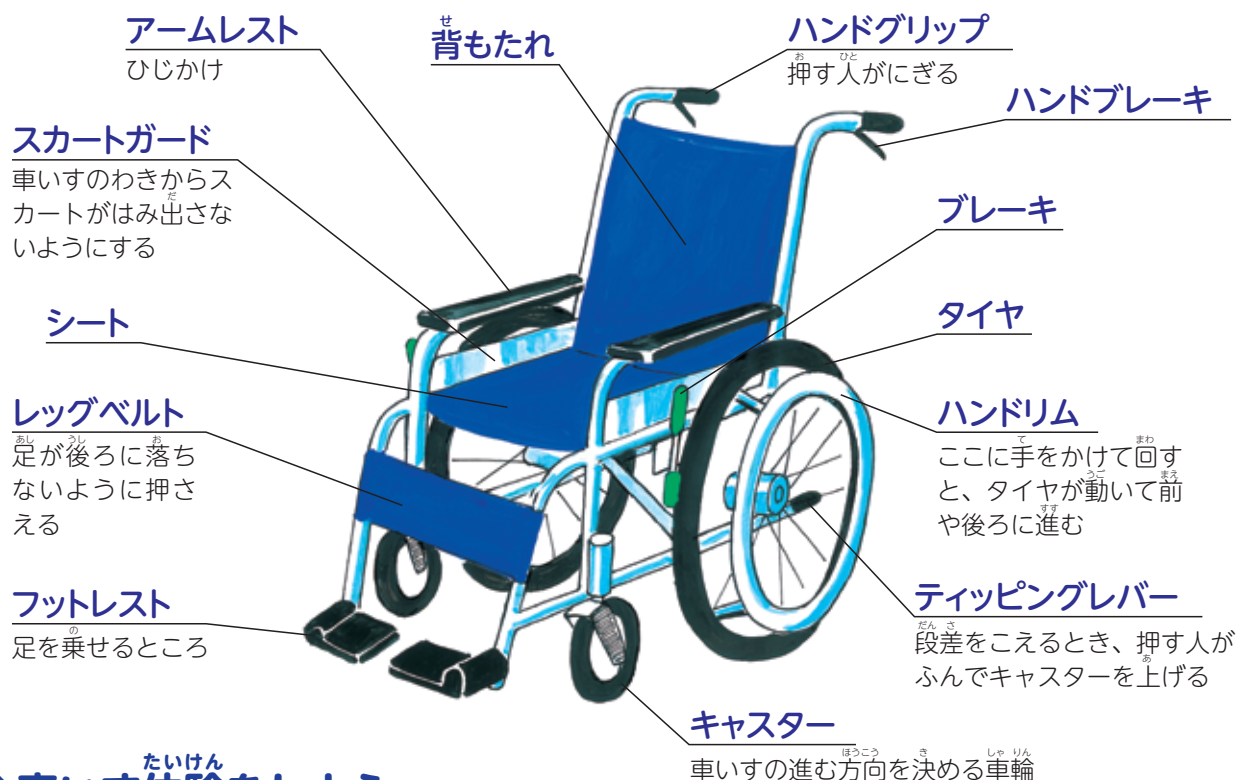
くつをぬいだり、はいたりする。



うまくできたかな？

友<sup>とも</sup>だちと助<sup>たす</sup>け合<sup>あ</sup>いながらやってみましょう。

## ◆くるま 車いすのしくみを知ろう



## ◆たいけん 車いす体験をしよう

- ①ブレーキをかけて、人を乗せる。
- ②車いすに乗った人の足を、フットレストに乗せる。
- ③「動きますよ」と声をかけてから、ブレーキをはずし、動かす。

### へいち 平地

後ろから、ゆっくりと押す。

人ごみの中では、フットレストが人に当たらないよう注意する。

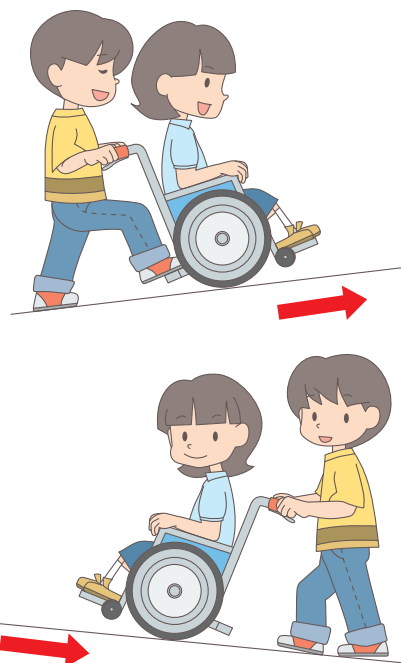
### のぼり坂

後ろから、少し体を前にかたむけて、1歩ずつしっかりと押す。

### くだり坂

後ろ向きで、1歩ずつゆっくりと、くだる。

ハンドブレーキを軽くかけながら、くだるほうがよい場合もある。



- ④「止まりますよ」と声をかけてから、止めて、ブレーキをかける。



じやり道や、公園のしばふのようなやわらかい地面では、うまく動かせないので、十分に気をつけましょう。

わたしたちのまわりには、いろいろな高齢者の人がいます。

高齢者は、今までにいろいろな経験をして、たくさんの知恵や知識をもっていますので、生活の知恵や昔の遊びを教えてくださいましょう。

また、元気で働いている人もいれば、病気などで体が不自由になった人もいます。年をとると、若い時にくらべて、目が見えにくくなったり、耳が聞こえにくくなったり、体の動きがゆっくりとなったりもします。

どんな感じなのか体験してみましよう。

## ◆目が見えにくい体験をしよう

ゴーグルに、セロテープをたくさん重ねて貼り、いろいろな物を見てみましょう。

### たとえば

本を読む。

黒板の文字や掲示物を見る。

外の景色を見る。



## ◆手先が動きにくい体験をしよう

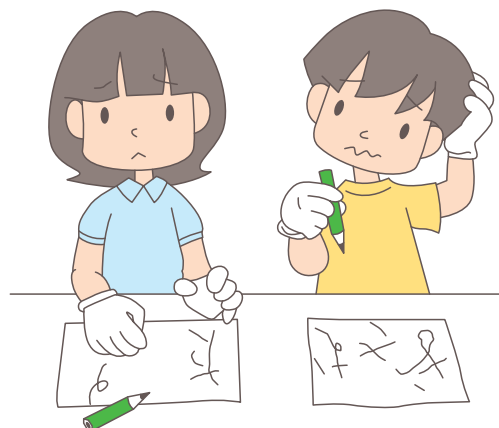
軍手を2枚重ねてはめ、いろいろなことをやってみましよう。

### たとえば

筆箱から鉛筆を取り出し、字を書いたり、消しゴムで消したりする。

本のページをめくる。

針に糸を通す。





## ◆<sup>みみ</sup>耳が<sup>き</sup>聞こえにくい<sup>たいけん</sup>体験をしよう

耳せんをして、さらに耳を<sup>じぶん</sup>自分の手でふさいで、いろいろなことをやってみよう。

### たとえば

<sup>ともだち</sup>友達<sup>こえ</sup>の声を聞いてみよう。

テレビの音<sup>おと</sup>を消<sup>け</sup>して映像<sup>えいぞう</sup>をどこまで<sup>りかい</sup>理解できるかためてみよう。

<sup>じゅぎょう</sup>授業のチャイムの音を聞いてみよう。



## ◆<sup>からだ</sup>体が<sup>うご</sup>動きにくい<sup>たいけん</sup>体験をしよう

「ひじ」と「ひざ」が動きにくくなるように、<sup>しんぶん</sup>新聞をまきつけ、ガムテープなどで<sup>こてい</sup>固定して、いろいろなことをやってみましょう。

### たとえば

<sup>お</sup>落ちて<sup>もの</sup>いる物をひろう。

<sup>かいだん</sup>階段を、のぼりおりする。

<sup>た</sup>立ったり、<sup>すわ</sup>座ったりする。



わたしたちのまわりには、障がいのある人がわたしたちとともに生活しています。

どんな生活をしているのか、少しでも教えてもらいましょう。

### ◆<sup>め ふじゆう こばやしやすし はなし</sup>目が不自由な小林康史さんのお話

- ・若いときに目が見えなくなりました。
- ・大阪の職業生活訓練センターで点字や歩行などの訓練をした  
り、名古屋盲学校で鍼灸マッサージを学んだりしました。
- ・今は、自宅で鍼灸マッサージ治療院を開業しています。



盲学校時代にソフトボールを楽しむ小林さん

- ・総合福祉センターでも週2回  
リハビリ指導を行っています。



仕事中小林さん

- ・余暇はソフトボールを楽しみます。
- ・目が見えなくなったときはショックでしたが、気持ちを切り替えて「次にどうするか」を考えました。

### ◆<sup>みみ とくどめみ さき</sup>耳が不自由な徳留美咲さんのお話

- ・生まれつき耳が聞こえません。
- ・中学校までは普通学校に通いました。高校は耳の聞こえない  
人や聞こえにくい人が通う聾学校に行きました。部活動は  
卓球部と音楽部に入っていました。音楽部では、打楽器を担  
当していました。お友達の演奏している指の動きを見て音を  
合わせました。



美容師の勉強をする美咲さん

- ・趣味はダンスです。アクセ  
ントのある曲をリズムを  
とらえて踊ります。



手話で話しをする美咲さん

- ・将来の夢は、聾学校の美容課の先生になることで  
す。そのために、今は美容の専門学校に行って美  
容師の勉強をしています。

## ◆手足が不自由な伊藤一浩さんのお話

- ・小さいころの病気が原因で、手足に障がいがあります。
- ・初めは手も足も動きませんでしたが、足の動きの訓練をして、足でペンが使えるようになりました。
- ・口に筆をくわえて描く星野富弘さんの詩画集に影響を受けて、足で絵を描いています。
- ・考えていることは皆さんと変わらないことを理解してほしいです。
- ・令和2年の夏、現在暮らしているところの方から『君に捧げる応援歌』という歌を教えてもらい、その歌を歌っている歌手「ヒッピーさん (HIPPIY)」を描いて絵手紙にしてみました。



絵を描く伊藤さん



伊藤さんの作品

## ◆目が不自由、耳が不自由、手足が不自由な人以外の人について

言葉を使ったり、記憶したり、考えたりすることに時間がかかる人もいます。また、話し合ったり、友達とかかわったりすることが苦手な人もいます。

このように、外見からは分からなくても、さまざまな困難さをかかえている人もいます。



## ◆詩を読んで考えてみよう

この詩は、伊藤さんの気持ちを詩にしたものです。どんな気持ちが込められているか考えてみましょう。

### 夢、飛ばす手

伊藤 かずひろ  
一浩

おおぞら  
大空に、かざしてみよう

おお  
大きな手

ちい  
小さな手

あお かなた  
あの青い彼方まで、夢を飛ばす

みんなの手

きみ つか あ す  
君の、その手が掴む明日は

しろ えがお  
白い笑顔が

ひか  
光るでしょう

くろ だいち つちにぎ  
黒い大地の土握り

ぐっと たくや  
ぐっと堪える悔しさよ

お なみだ ゆび  
落ちた涙、指つたう

た ちから  
起つ力

こぶし こ  
拳に込める

君の、その手が掴む明日は

みどり き ぎ しげ  
緑の木々が茂るでしょう



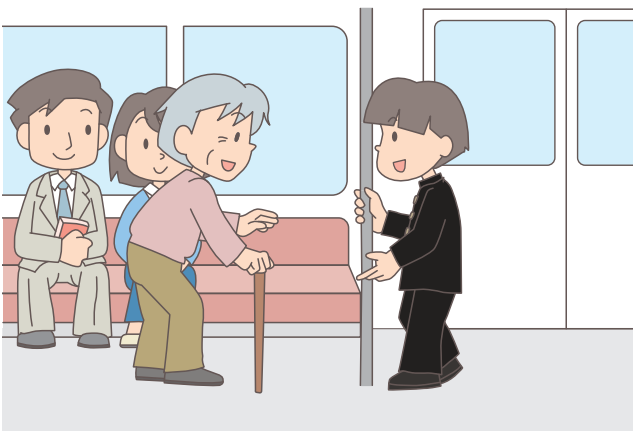
こま 困っている人を見かけたとき、どうしますか？  
てつだ どんなお手伝いができるか、今までに体験してきたことをふりかえり  
いま ながら、相手の気持ちになって考えてみましょう。

## ◆きょう 今日から、じぶんひとり 自分一人でもできること

困っている人を見かけたとき、一人でもできることはどんなことがあるか、考えてみましょう。

### たとえば

でんしゃ 電車やバスでこうれいしゃ 高齢者やにんぶ 妊婦さんがた 立っていたらどうしますか。  
くるま 車いすで困っている人がいたらどうしますか。



がいけん 外見からわからなくても  
えんじょ 援助やはいりょ 配慮をひつよう 必要として  
いる方々が、かたがた 周囲の方に  
しゅうい 配慮を必要としていること  
をし 知らせることができる  
マークです。



ヘルプマーク

## ◆みんなで体験してみよう

自分たちでできることを考えて、けいかく 計画してみましょう。

### たとえば

こうれいしゃ 高齢者やしょう 障がいのある人のしせつ ほうもん 施設を訪問する。  
てんじ 点字やしゅわ 手話をくわしくしら 調べる。



それぞれの<sup>しょうがっこう</sup>小学校では、いろいろな<sup>かつどう</sup>活動をしています。  
みなさんも、<sup>すす</sup>進んで活動の<sup>けいかく</sup>計画をたてて、<sup>さんか きょうりょく</sup>参加や協力をしましょう。

<sup>ようせい</sup>  
養正小学校



<sup>くるま</sup>車いす体験を通じて、<sup>たいけん</sup>バリアフリーについて<sup>まな</sup>学びました。

<sup>せい か</sup>  
精華小学校



車いすで<sup>だんさ</sup>段差の体験をしました。

<sup>きょうえい</sup>  
共栄小学校



アイマスクをつけて、<sup>め</sup>目が<sup>ふじゆう</sup>不自由な<sup>ひと</sup>人の体験をしました。

<sup>しょうわ</sup>  
昭和小学校



<sup>ふくし</sup>福祉センターを見学し、<sup>けんがく</sup>誰もが<sup>だれ</sup>安心して<sup>あんしん</sup>暮らすための工夫を見つけました。

<sup>こいずみ</sup>  
小泉小学校



アイマスクをつけて、<sup>たいいくかん</sup>体育館で目の不自由な人の体験をしました。

<sup>い け だ</sup>  
池田小学校



車いすに<sup>じぶん</sup>自分が乗ったり、<sup>お</sup>押してあげたりする体験をしました。



## 市之倉小学校



アイマスクを付け白杖を使って歩き、目の不自由な人の体験をしました。

## 南姫小学校



車いす体験を通して、体が不自由な人の気持ちを考えました。

## 北栄小学校



車いす、高齢者の疑似体験を行い、高齢者への接し方を学びました。

## 笠原小学校



車いすの操作は大変でした。自分ができることをやらせていただこうと思いました。

## 滝呂小学校



物がつかみづらくなる体験や視野が狭くなる体験を通して、高齢者の気持ちや関わり方について学びました。

## 根本小学校

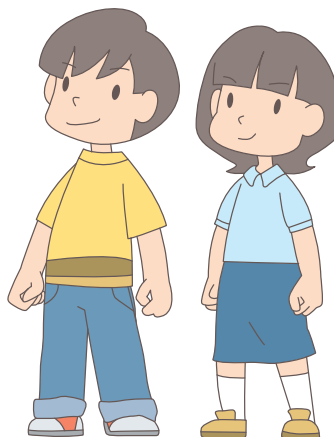


高齢者体験を通して、車いすは重くて大変なことが分かったり、乗っている人が安心できるような扱い方が分かったりしました。

## 脇之島小学校



白杖とアイマスクを使い、視覚障がい者の疑似体験をしました。



- ▲：みんなのための施設
- ：こどものための施設
- ：こうれいしゃの高齢者のための施設
- ：しょうひと障がいのある人のための施設



## \* みんなのための施設 \*

市役所（本庁舎・駅北庁舎・保健センター）、総合福祉センター、サンホーム滝呂、ふれあいセンター姫、かさはら福祉センター、市民病院、県病院、東濃保健所、東濃西部総合庁舎、精華交流センター、根本交流センター、小泉交流センター

## \* 子どものための施設 \*

- 児童館・児童センター  
笠原児童館、共栄児童館、坂上児童館、中央児童館、精華児童館（精華交流センター内）、旭ヶ丘児童センター、市之倉児童センター、太平児童センター（総合福祉センター内）、滝呂児童センター（サンホーム滝呂内）、根本児童センター（根本交流センター内）、脇之島児童センター、南姫児童センター（ふれあいセンター姫内）、小泉児童センター（小泉交流センター内）
- 発達支援センター なかよし、ひまわり
- 子ども情報センター

## \* 高齢者のための施設 \*

- 生活している施設  
愛の家、市之倉ひまわり、エバーグリーン、円、かさはら陶生苑、我家我家、グリーンホームかさはら、浩養園、さくらの杜、シュアー、ジョイフル多治見、住ま居る、清涼苑、たじみ陶生苑、多容荘、ニチイケアセンター太平町、花トピア姫、ビアンカ、ベルツリー、ホープ
- ※このほかにも、高齢者が家から通って、食事やお風呂などのサービスを受ける所があります。また、家に来てもらって、食事やお風呂などのお手伝いをしてもらうサービスなどがあります。

## \* 障がいのある人のための施設 \*

- 昼間の活動をする施設  
旭ヶ丘ホーム、けやき、けやきカレッジ、陶技学園、東濃自閉症援助センター「かさはら」、なごみの杜かさはら、はだし工房共同作業所、ピュアハート姫、ぶなホーム、優が丘
- ※このほか、障がいのある人が共同生活をしながら、食事やお風呂などのお手伝いをしてもらう所があります。また、家で食事やお風呂などのお手伝いをしてもらうサービスなどがあります。



たじみし  
多治見市総合福祉センター

多治見市<sup>たいへいちやう</sup>太平町<sup>ちやうめ</sup>2丁目<sup>ばんち</sup>39番地の1  
TEL 0572-25-1131 FAX 0572-25-1132



## こどものための施設

### ●<sup>たいへいじどう</sup>太平児童センター（1階）<sup>かい</sup>

<sup>きゆうじつ</sup>休日や<sup>げこう</sup>下校してから<sup>ともだち</sup>友達と<sup>たの</sup>楽しく<sup>あんぜん</sup>安全に<sup>あそ</sup>遊べます。

### ●<sup>ちゅうこうせい</sup>中高生スペース

おおむね<sup>さいい</sup>18歳以下<sup>か</sup>の人が、<sup>ひと</sup>勉強や<sup>べんきやう</sup>読書、<sup>どくしょ</sup>卓球などの<sup>たっきゅう</sup>軽運動<sup>けいうんどう</sup>や<sup>がっき</sup>楽器など、<sup>こうりゆう</sup>交流・<sup>いこ</sup>憩いの場<sup>ば</sup>として<sup>かつやう</sup>活用しています。



太平児童センター

## こうれいしゃ 高齢者のための施設

### ●<sup>ちいきほうかつしえん</sup>太平地域包括支援センター（3階）

高齢者の<sup>せいかつ</sup>生活を<sup>てだす</sup>手助けするために、<sup>そうだん</sup>相談にのったり、<sup>ほうもん</sup>訪問を<sup>し</sup>したりしています。

### ●<sup>ろうじん</sup>老人福祉センター（3階）

いろいろな<sup>きやうしつ</sup>教室や<sup>ひら</sup>サークルを開いて、<sup>けんこう</sup>健康や<sup>い</sup>生きがいづくりをしています。



老人福祉センター

## しょう 障がいのある人のための施設

### ●<sup>しょうがいしゃ</sup>障害者福祉センター（2階）

障がいのある人のために、いろいろな<sup>きやうしつ</sup>教室を開いて<sup>ま</sup>す。



障害者福祉センター

## みんなのための施設

### ●<sup>しゃきやう</sup>社協<sup>しゃかい</sup>たじみ（1階）（<sup>ほうじん</sup>社会福祉法人<sup>きやうぎかい</sup>多治見市社会福祉協議会）

だれもが<sup>あんしん</sup>安心して<sup>す</sup>住みなれた<sup>ちいき</sup>地域で<sup>く</sup>暮らせるように、いろいろな<sup>しごと</sup>仕事をしています。

### ●ボランティアセンター（1階）

ボランティアをしたい人とボランティアをしてほしい人の<sup>しょうかい</sup>紹介をしています。  
<sup>しゅわ</sup>手話などの<sup>こうざ</sup>講座を開いたり、相談にのったりしています。

## ◆赤い羽根共同募金

みなさんも知っている赤い羽根共同募金で集まったお金は、次のようなことに使われています。



赤い羽根  
共同募金



あいちゃんときぼうくん

赤い羽根共同募金のキャラクター

寝たきりまたはひとりで暮らしている高齢者の生活を助ける活動。

(例) ひとりで暮らしている高齢者に小学校の児童から年賀状を送る活動など。

体や心に障がいのある人が安心して暮らせるためのお手伝いをする活動。

(例) 障がいのある人が集まってお話やレクリエーションをしたり、地域の人と交流したりする障がい者サロン活動など。

誰もが支え合う地域づくりのために、みんなで福祉のことを考える機会を提供する活動。

(例) 広報の発行など。



児童から高齢者への年賀状



高齢者からのお礼の年賀状



他に、どんなことに使われているか調べてみましょう。

赤い羽根共同募金のホームページアドレス <https://www.akaihane.or.jp/>

## ◆ユニバーサルデザインの商品

誰もが使いやすいように工夫されているユニバーサルデザインの商品には、いろいろな物があります。



力の弱い人でも簡単に抜くことができるように、つまみのついたコンセント



① 押すだけで切れる

握る力が弱い人でも使えるはさみ。



③ 幼い子や高齢者が口に入れやすいように、すくう部分が手前に曲がっているスプーン

他にどんな商品があるか、調べてみましょう



## ◆国際シンボルマーク

このマークは、車いすを使っている人だけでなく、すべての障がいのある人たちが利用できる建物や公共輸送機関であることを示す、世界共通のシンボルマークです。

障がいのある人が車に乗っていることを知らせたり、障がい者用の駐車場を知らせたりすることに使われています。



## ◆身体障害者標識

このマークは、体が不自由な人が車を運転するとき、車に貼るマークです。

このマークを貼った車への割り込みは禁止されています。



## ◆聴覚障害者標識

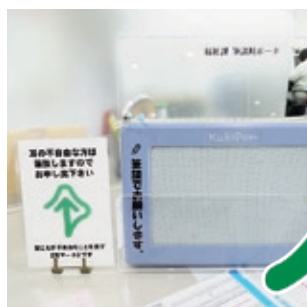
このマークは、耳が不自由な人が車を運転するとき、車に貼るマークです。

このマークを貼った車への割り込みは禁止されています。

## ◆耳マーク

耳の聞こえにくい人や耳の聞こえない人が、周りの人に名前を呼ばれても聞こえないことを知らせるマークです。

このマークを付けた方と話すときは、文字を書いてやり取りをしたり、はっきり口元を見せ話をしたりしてください。







## ◆多治見市のバリアフリーマーク

多治見市では、バリアフリーについて一定の条件にあてはまるお店や施設にこのマークを配り、入口に貼ってもらうようにしています。

障がいのある人や小さな子どもを連れた人たちが、お店や施設などを選ぶときの参考にできます。



## ◆ほじょ犬マーク

このマークは、市役所や電車、バス、お店などに身体障がい者補助犬（盲導犬、聴導犬、介助犬）と一緒に入れることをお知らせするマークです。

補助犬はペットではありません。体の不自由な方の体の一部となって働いています。



## ◆ヘルプマーク

このマークを身に着けた人を見かけたときは、電車などで席をゆずる、困っていたら声をかけるなど、思いやりのある行動をしましょう。



## ◆おもいやり駐車場マーク

このマークは、障がいのある人やけがをした人など、歩くことが難しい人が優先的に利用できる駐車場であることを示すマークです。

駐車場の表面や付近の看板、三角コーンなどにマークの表示がしてあります。

## ◆福祉体験の様子と感想

しょうがっこう なか  
小学校の中には、こんなふうに福祉体験をしているところがあります。

体験して、わかったことや感じたことをみんなで話し合ってみましょう。



## 《福祉体験をした小学生の感想》

アイマスク体験をしてみて、目が見えないことの大変さを実感しました。点字ブロックの上  
に自転車などが置いてあると視覚障がい者の人はとても困ります。絶対にしてはいけないし、  
安心して点字ブロックの上を歩いてほしいです。

高齢者になると、子どものときにできたことができなくなるので大変だなと思いました。高  
齢者を見かけた時に困っていたら、やさしく声をかけてあげると嬉しい気持ちになれることを  
学びました。これからは高齢者に親切にしたいと思いました。

車いす体験では、自分で動かすことがとても大変でした。特に段差があるところでは自分で  
動かせなかったですが、介助してもらったら、すごく助かりました。これからは「押してあげ  
ましょうか」などの声をかけたり高い所の物をとってあげたいと思いました。



## ◆<sup>じたく</sup><sup>う</sup>自宅で受けられるサービス

<sup>しょう</sup>障がいのある人<sup>ひと</sup>や<sup>こうれいしゃ</sup>高齢者の人が<sup>せいかつ</sup>自宅で生活するときに<sup>りよう</sup>利用できるサービスがいろいろあります。

### たとえば

#### ●<sup>りふと</sup><sup>つき</sup><sup>しゃりょう</sup>リフト付き車両

<sup>くるま</sup>車いすに<sup>の</sup>乗っている人が<sup>で</sup>出かけるときに<sup>むか</sup>迎えにきてもらえます。



#### ●<sup>ほうもんにゆうよくかいご</sup><sup>いどう</sup><sup>しゃ</sup>訪問入浴介護（移動入浴車）

<sup>ふろ</sup>お風呂に入る<sup>はい</sup>ことが<sup>こんなん</sup>困難な人の<sup>いえ</sup>家  
に<sup>き</sup>来て入浴の<sup>てだす</sup>手助けをしてもらえます。



#### ●<sup>ふくしやうぐかしだし</sup>福祉用具貸出

<sup>でんどう</sup>電動ベッドなどが<sup>か</sup>借りられます。



#### ●<sup>じゅうたくかいしゅう</sup>住宅改修

<sup>て</sup>手すりをつけたり、<sup>だんさ</sup>段差をなくしたりします。





## 編集委員

令和4年3月末現在

|      |        |                    |
|------|--------|--------------------|
| 委員長  | 久野 智治  | 多治見市教育研究所          |
| 副委員長 | 小島 章予  | 多治見市子ども支援課         |
| 編集委員 | 杉原 裕子  | 岐阜県自閉症協会 多治見市ブロック  |
|      | 小林 実   | 社会福祉法人 陶技学園        |
|      | 山田 恵美子 | 社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会 |
|      | 加藤 政也  | 多治見市立南ヶ丘中学校 教諭     |
|      | 河合 尚子  | 多治見市立南姫中学校 養護教諭    |
|      | 前川 栄一  | 多治見市立北栄小学校 教諭      |
|      | 吉田 寛子  | 多治見市立市之倉小学校 教諭     |

## 表紙絵

有賀 宣美

## 表紙裏詩・絵

伊藤 一浩

## 取材協力・写真提供

伊藤一浩、小林康史、徳留美咲、社会福祉法人中部盲導犬協会、社会福祉法人多治見市社会福祉協議会、多治見市障害者福祉センター、多治見市老人福祉センター、太平児童センター、多治見警察署北部交番、多治見南消防署、東濃鉄道株式会社、ユニバーサルデザイン研究会、市内小学校  
共栄保育園、双葉保育園、平和中学校  
(順不同・敬称略)

## 参考文献

ボランティアに役立つはじめてであう点字⑤バリアフリーをめざして／岩崎書店  
やってみよう！はじめての手話①手話をはじめよう／岩崎書店  
からだが不自由って、どんなこと②バリアフリーの町に！／学研プラス  
総合的な学習のテーマが見つかるアイデア新聞④健康・福祉・ボランティアを体験／金の星社  
わたしたちにもできるこれからのボランティア②ボランティアをはじめよう実践編①／文研出版  
わたしたちにもできるこれからのボランティア③さまざまなボランティア実践編①／文研出版  
「障害」について考えよう②目でしっかりきく 耳に障害のある子どもたち／ポプラ社  
「こころ」を伝えるボランティアの本②あいさつだってボランティア／光村教育図書  
「こころ」を伝えるボランティアの本④まちがいだらけのボランティア／光村教育図書

### 公文書（注）における「障がい者」などのひらがな表記について

「わたぼうし」は多治見市独自の読本ですので、「障害者」を「障がい者」「障がいのある人」などと表記して、「害」の字のもつマイナスイメージを与える不快な心情を和らげるなど、障がい者の人権に配慮しています。市のこうした取組を通して、障がい者や障がい福祉に対する市民の理解を推進するものです。

ただし、国や県が作成している法令などの名称、法令などで使用される用語、組織・施設名などは、ひらがな表記をしません。

（注）市が作成する通知文書、広報紙、チラシ、パンフレット、ホームページなど

令和4年3月 改訂版発行

編集発行 多治見市福祉部福祉課  
多治見市音羽町 1-233  
TEL 0572-23-5812  
作成費用 371,800 円 (税込)  
作成部数 650 部

※この印刷物は、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に基づく基本方針の判断の基準を満たす紙を使用しています。

※リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

※この印刷物は、Aランクの資材のみを使用しており、印刷用の紙にリサイクルできます。

リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

